
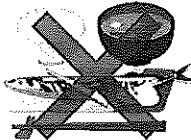

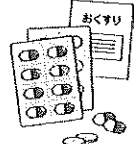


腰椎椎間板ヘルニア 入院患者さんパスシート(No.1)





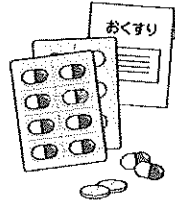
氏名		診療科名	
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/	
経過	入院日(手術前日)	
達成目標	1) 手術の物品の準備をしましょう。 2) 手術について理解しましょう。 3) 麻酔について理解しましょう。 4) 転倒・転落の危険性、予防方法について理解しましょう。	
治療・検査	13時から15時の間に麻酔科の診察があります。	
処置	弾性ストッキングのサイズを測ります。	
活動	決められた安静度を守りましょう。	
清潔	体拭き又はシャワー浴をします。	
食事	1) 21時から食べられません。 2) 24時から水分を飲めません。	 
薬	お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に14日分お持ちください。 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。	
説明・指導	1) 医師より手術の説明があります。 2) 咳や熱などの感冒症状がある場合は看護師にお知らせください。 3) 看護師より手術前後の処置、必要な物品について説明があります。 4) 看護師より転倒・転落の危険性、予防方法についての説明があります。 5) 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔についての説明があります。 6) 手術に使用するバスタオル1枚、T字帯1枚をお預かり致します。	

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に
 応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

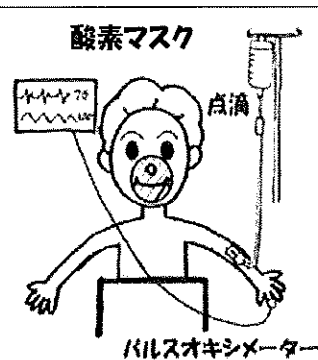

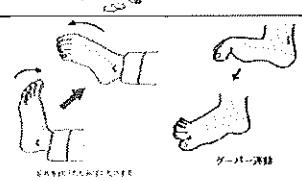
腰椎椎間板ヘルニア 入院患者さんパスシート (No. 2)

氏名		診療科名			
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/	
経過	手術当日(手術前)	
達成目標	不安の言動がなく手術に臨むことができる。	
治療・検査	10 時以降に手術開始予定の場合は、手術室に行く前に点滴を行います。	
処置	深部静脈血栓症予防のため、ストッキングを履いて手術室に向かいます。	
活動	指示された安静度を守ってください。	
清潔	洗面、歯磨きは行うことができます。	
食事	食べたり飲んだりできません。	 
薬	医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。	
説明・指導	<p>1) 手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。</p> <p>2) 貴重品はご家族に預けるか、ご家族が来院されない場合は金庫の鍵は看護師にお預けください。家族の待機場所へご案内します。</p>	

腰椎椎間板ヘルニア 入院患者さんパスシート (No. 3)

氏名		診療科名	
		入院予定期間	年 月 日
			年 月 日

月日	/	
経過	手術当日(手術後)	
達成目標	1) 痛みや苦痛が強い場合は看護師へ伝えましょう。 2) 深部静脈血栓症を予防するための足の運動を行いましょう。	
治療・検査	1) 手術翌日の朝まで点滴を行います。 2) 酸素マスクをつけます。 3) 点滴から痛み止めを流します。 4) 手術終了後、レントゲン撮影があります。	
処置	1) 深部静脈血栓症の予防のため、術後はストッキング着用します。(歩行が可能になったら外します)	
観察	血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)について1時間ごとに観察させていただきます。	
活動	1) ベッドで安静にしますが、40度まで体を起こすことができます。体の向きを変える時は看護師がお手伝いします。 2) 起き上がる時は看護師を呼んでください。	
清潔	顔を拭く、口の中をきれいにするお手伝いをします。	
食事	食事はできません。 水分は酸素マスクが外れれば飲むことができます。	
薬	手術後、薬は基本的に飲みません。 翌日から内服が開始になります。	
説明・指導	1) 手術後、点滴を誤って引っ張られたりしないように注意しましょう。 2) 足首の運動をしましょう。 3) 手術後は痛みなどの症状に対し、お薬を使用しますので遠慮なくお伝えください。	

腰椎椎間板ヘルニア 入院患者さんパスシート (No. 4)

氏名	
----	--

診療科名	
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/	/
経過	術後 1 日目	術後 2 日目
達成目標	1) 転倒に注意しましょう。 2) 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。	
治療・検査	1) 朝、看護師が採血に伺います。 2) 食事が摂取できたら抗生物質の点滴のみになります。	
処置		医師が傷の消毒を行います。
観察	血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)について観察させていただきます。	
活動	術後 1 日目より痛みに合わせて歩行を開始します。 移動が安定するまでは看護師が付き添います。	
リハビリ	歩行練習は看護師と一緒にいきましょう。	
清潔	体を拭くお手伝いをします。	
食事	朝より手術前と同じ食事が始まります。	
薬	1) 食事が開始となると、元々内服していた薬が再開となります。 2) 痛み止めの内服薬が処方されます。 3) 痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。	
説明・指導	1) 痛み止めの内服方法について看護師から説明があります。 2) 手術した足の安静度について説明します。	



腰椎椎間板ヘルニア 入院患者さんパスシート (No. 5)

氏名	
----	--

診療科名	
入院予定期間	年 月 日
	年 月 日

月日	/	/
経過	術後 3～7 日目	術後 8～14 日目 (退院)
達成目標	転倒に注意しましょう。	1) 退院後の生活をイメージしてみましょう。 2) 転倒に注意しましょう。
	痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。	
治療・検査	術後は退院前日に採血・レントゲンを行います。	
処置	傷の状態に応じて、必要時消毒を行います。	
観察	腰を捻ったり、腰を曲げる動作はしないようにしましょう。	
活動	痛みに合わせて歩行器を使用し、疼痛が軽減すれば歩行器なしで歩行します。	
清潔	体拭きを行います。 医師の許可が出るとシャワー浴が可能となります。	
食事	制限はありません。	
説明・指導	1) 退院後の外来診察日について説明します。 2) 保険などの書類は退院日に本館 1 回 A ブロックの受付窓口に提出してください。(受付窓口は平日、土曜のみ利用可能です。)	